

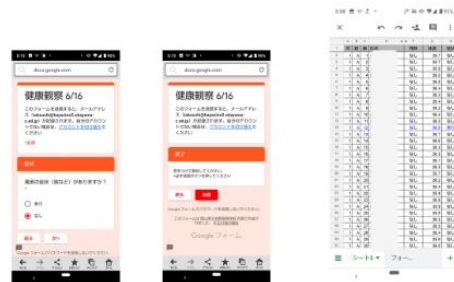
1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立林野高等学校		
実践者等	ICT活用プロジェクトチーム	実践日	令和3年4月～
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	朝の健康観察		
対象生徒(学年等)	全校生徒		
単元名 (教科・科目の場合のみ)			
使用したアプリ等	Forms、スプレッドシート、Gmail		
実践の概要(ねらい等)	新型コロナウイルス感染症対策として実施している健康観察のオンライン化		

実践の内容

新型コロナウイルス感染症対策のために実施している健康観察を生徒に徹底させるために、朝の検温システムの送信、入力状況のモニター表示を行い、未入力の生徒には校舎に入る前に入力指導を行っている。

- (1) 自動配信により Gmail で検温システムを配信。生徒は、登校前に検温システムへ入力。(体温数値、風邪の症状の有無)
 ※発熱、風邪の症状がある場合は
 「登校できない可能性があるので、学校へ連絡をください」という指示が自動的に出る。



検温システム

- (2) 校舎入り口の TV モニターに入力状況をリアルタイムに表示させる。
 ※モニターに表示することで、生徒の事前入力率が大きく上昇した。

只今の検温入力率								
1 A	32	／33人中	2 A	32	／36人中	3 A	21	／21人中
1 B	32	／33人中	2 B	37	／37人中	3 B	20	／20人中
1 C	32	／34人中	2 C	37	／37人中	3 C	33	／33人中
						3 D	32	／32人中
96 %			96 %			95 %		
あと 4人			あと 4人			あと 6人		
校舎内に入る前には入力しよう!								
休日も体温の入力をし、体調管理に役立てよう!								

モニター



参考となる HP 等